

学生便覧 2023年度
B2023-3-5

国際人文学部

国際交流学科

日本語教員 養成課程

日本語教員養成課程（副専攻）

I 日本語教員について

日本語教育とは、日本語を母語としない人に、外国語として日本語を教えるもので、日本人が国内の学校制度で受けてきた国語教育とは異なる。日本人であると日本語を教えるのは簡単だと思いがちだが、実際は、逆に、高度な専門的知識が必要とされる。グローバルな視点から日本語を分析・説明すること、日本の文化や社会を誤解のないように紹介すること、文化的に異なる背景を持つ人々のグループを適切に指導すること、などの能力が求められる。

日本語を母語としない日本語学習者の数はこの 20 年ほどで増加しており、日本語教員を目指す人の数も増えている。日本語教師として、就職するのはそれほど容易ではないが、社会の国際化にともなって日本語教員の需要は増大している。日本語教員の活躍の「場」は、日本国内はもちろんのこと海外の大学・高校・中学校・小学校・日本語学校・国際交流団体・技術研修機関など、大変幅広くある。今、世界の多くの人々が日本語を勉強している。これらの人々の求めに応じられる日本語教員が必要とされている。また、日本語教員を目指す人でなくても、日本語教員としての訓練を受けた人の異文化コミュニケーション能力は、将来、海外と関連ある企業等に就職を希望する人、NPO 活動のボランティアや、青年海外協力隊員として国際的に活躍したい人にとっても役立つものになるはずである。

本学では、「教える知識」「教える技術」「国際人としての素養」を兼ね備え、国内のみならず海外でも活躍できる本格的な日本語教員の養成を目指す。そのために、日本語教育に関する知識・技術の修得は勿論、異文化間コミュニケーションに関する科目、あるいは日本の文化、歴史に関する科目など幅広く学習する独自の教育プログラムを用意している。

このプログラムの最大の特徴は、国内外での研修・実習の豊富さにある。必修科目として大学内で教育実習を行うだけでなく、1、2 年次の短期のインターシップや 3、4 年次の長期の教育実習研修など、海外での日本語教育を体験する機会があり、これらはそれぞれプログラムの導入と仕上げを目的としている。加えて国内の日本語学校でも研修が複数回実施される。なお、日本語教員としての能力を認定する試験として「日本語教育能力検定試験」がある。これは日本語教育の知識および能力が日本語教育の専門家としての水準に達していることを証明する検定である。本学の養成課程では、同検定に即して授業内容を構成している。

また、本課程は「副専攻」制度に含まれているので、副専攻のページも参照すること。ただし、他の副専攻と修得単位数及び手続き方法が異なるので、次ページ以降を確認すること。

II 課程修了認定について

現時点では、日本語教員には、資格認定や免許制度がない。大学や専門学校などの養成機関は、文化庁から示された養成課程に関する*指針に基づき、カリキュラムを組み、課程修了認定を行っている。

本学も、副専攻登録を行い、所定の単位を修得した学生に、独自の課程修了認定証を発行している。修了証が必要な場合は、所定の手続きにより発行申請すること。

問い合わせ先：H棟 林 千賀研究室

登録および修了証の申請先：本部棟 1F 教務課

III 課程修了認定に必要な単位について

日本語教員養成課程に関する科目は、国際人文学部 国際文化学科・国際交流学科に設置されている。

以下の表にしたがって、合計 33 単位（必修 28 単位、選択必修 2 単位、選択 3 単位）を修得することで修了認定がなされる。なお、これらの科目の単位はすべて国際人文学部の卒業要件単位にも含まれている。

3 領域	5 区分	副専攻の科目	必修	選択 必修	選択	
社会・文化に 関わる領域	社会・ 文化・ 地域	国際日本学		2		
		日本文化論		2		
		文化交流史（日本：アジア）		2		
		文化交流史（日本：欧米）		2		
		日本語教育事情	2			
		多文化社会論			2	
		国際関係論			2	
	言語と社会	言語と社会	社会言語学	2		
			言語・非言語コミュニケーション論			2
		言語と心理	第二言語習得論	2		
			異文化適応論			2
	教育に関わる 領域	言語と教育	日本語教授法（教授法）	2		
			日本語教授法（コースデザイン・評価）	2		
			日本語教授法（教材・教具）	2		
日本語教育実習 I			2			
日本語教育実習 II			2			
異文化間コミュニケーション論			2			
言語に関わる 領域	言語	言語学			2	
		言語学概論	2			
		日本語学概論 B	2			
		日本語の音声	2			
		日本語学概論 A			2	
		日本語の語彙・意味	2			
		日本語の文法 A			2	
		日本語の文法 B	2			
		コミュニケーションインターンシップ			3	
		異文化理解			2	
		修了に必要な合計単位数	28	2	3	
			33			

<登録から修了証授与まで>

副専攻は、まず教務課で登録すること。事前登録をしないと修了証の発行ができない。

学 年	手続き関係		費 用
1 学 年	4月	オリエンテーション 登録カードの提出	登録時に 10,000 円※
2 学 年			
3 学 年			
4 学 年	2月	副専攻認定申請書の提出	認定申請時に 40,000 円
卒 業 式	3月	副専攻修了証の授与	計 50,000 円

※ 3年生終了までに必ず登録すること。